

## 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学科概要

専修学校名	大阪リゾートアンドスポーツ専門学校	分野区分	文化・教養
課程名	社会体育専門課程	修業年限	2年
学科名	スポーツトレーナー科	学科定員数	300名
学科開設年月日	平成20年4月1日	学科実員数	260名
コース設置年月日	平成27年4月1日	推奨年度	平成28年度
当該学科の教育目標	「人を活かし、困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、を要請する事を目的とする。		
就職を目指す職業	スポーツトレーナー・パーソナルトレーナー・フィットネスインストラクター		
入学案内への記載	就職率 97.3%、在校生実習レポート、クラブ活動、資格サポートAAAシステム、		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
スポーツトレーナーの専門知識を学習し、より専門的なフィジカルトレーナーやパーソナルトレーナーへの就職を希望している。		スポーツトレーナーとしてより実践的な知識・技術を修得し、現場で役立つ高いコミュニケーション力を持った人材を獲得できる。	

## 3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成27年度実施内容

提携企業名(業界名)	NPO法人アミティエ・スポーツクラブ、株式会社ウエルネス阪神、
コースの目標	スポーツトレーナーの役割やフィットネスクラブにおけるクライアントとの関わり方、医療機関・高齢者運動施設での運動指導など、現場での基礎知識や組織全体の機能や運営理解を体得する事を目標としています。
企業等との提携内容※両者の役割分担や共同作業の内容など	本校の教育方針を理解頂き、共に教育して下さるスポーツ施設を選定し依頼、承諾頂いた上で実習を進める。また、予め担当者の実習期間中のスケジュール、指導体制を明確に摺合せ、充実した実習の遂行に向け、またお客様へのご迷惑とならぬよう、事前指導徹底の上実習に臨ませる。
コース内容※企業現場実習など	下記に定める項目を、スポーツ施設の指導のもと、実践的な技術、知識を修得させる。 (1)受付業務 (2)トレーニング指導 (3)接客業務 (4)オープン・クローズ業務 (5)コンディショニング業務 (6)施術補助・見学(7)その他、協議のうえ別途合意した業務 また、生徒の学習成果の評価については、連携先である施設の評価を65点とし、実習手帳の内容を35点として100点満点で集計する。
提携契約期間	平成27年4月1日～平成29年3月31日
提携教育期間	1年生10月～2月・2年生5月～9月・合計210時間以上※推奨年度の実際の提携教育期間を記載
コース受講生の募集・選定方法	1年生は、入学年度の7月に実習概要の説明。実習先の選定方法は、9月に実習提携企業リストを提示し、生徒にエントリーさせる。実習施設とのマッチングを検討し、決定する。1年次10月には実習企業・施設を決定し、実習開始。 2年生は、4月に実習概要説明し、エントリー。実習施設とのマッチングを行い、5月より9月まで実習実施～評価を付けを行う。

履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	企業評価の有無
有	1,296時間 / 1,943時間	無	有
評価方法	学校	スポーツ施設の評価と、実習手帳の内容を踏まえ、学校の授業科目として成績評価及び履修認定を実施	
	企業	実習評価として、『基礎・能力』『生活態度』『実習態度』『技術面』を4段階で評価を頂く	
学生への支援・配慮事項		学校：担任による学生ケア、実習施設担当教員による実習前ガイダンスと指導、実習巡回、実習後指導 スポーツ施設：実習担当者による学生へのアドバイスとフォロー	

#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間力」を養う為の独自のカリキュラムを取り入れ、社会で長く働ける社会人基礎力を身につけさせている。</li> <li>・業界への興味・関心を高めるために、在学時より卒業生・業界関係者の講話や、ケーススタディの機会を設けている。</li> <li>・同窓会ネットワークを活用し、卒業生に対して業界の情報提供・交流会の実施を行っている。</li> </ul>

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 26 年度	平成 27 年度(見込)
a. 学科修了者数	112名	105名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	112名	105名
c. 「b」のうち、就職希望者数	109名	100名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	1名	5名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	87名	80名
f. 「b」のうち、進学者数	2名	3名
イ. 主な就職先、業界等	フィットネスクラブ関連、リラクゼーション業界、スポーツショップ業界、パーソナルトレーナー業界 等	

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 14名(中退率 5.9%)
b. 平成26年4月1日在学者 237名(平成26年4月入学者を含む)
c. 平成27年3月31日在学者 223名(平成27年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
進路変更、経済的理由、精神的疾患、
ウ. 中退防止のための取組
保護者、担任を交えた3者面談の実施/本人や保護者への経済的支援のアドバイス/ スクールカウンセラーを通してのカウンセリング等の個別の心のケアを実施

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL:

<http://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/osaka-sports.pdf>